

『地域学習in明世&大湫』

◇2月13日(火)、1年生108名が5台のバスに便乗して、明世…化石博物館、大湫…大湫宿に分散して赴き、現地で学芸員さん、ボランティアガイドの方の話を聞いたり、現物を見たりして学びを深めました。全員が一斉に移動したり、話を聞いたりすることが難しかったため、2つのグループに分かれてスタートしました。

化石博物館では、安藤佑介学芸員さんから話を聞きました。釜戸で発掘された『パレオパラドキシア』について、11月に全校に対して化石講話をしていただいて以来、2回目となります。お忙しい中、1年生のために丁寧なお話をしてくださってありがとうございます。

大湫では、ボランティアガイド9名と、本当に多くの方にお世話になりました。地域(故郷)のために活動されている、中学生のために時間を割いてくださっていることに感謝です。

お世話になった1年生がどのような想いを抱き、今回の学習をどのように生かそうとするか、まずは2月22日の授業参観での発表の場が楽しみです。この場に今回お世話になった安藤学芸員さんやボランティアガイドの方々をお招きして、自分たちの学びの成果を発表できるといいですね。発表の感想をいただけたら、交流とともに学びも深まります。(次ページに学んだこと・印象に残ったことを一部掲載します。)



【地域学習から学んだこと・印象に残ったこと】

(化石博物館)

☆化石博物館内に展示してあるデスモスチルスの化石や他の化石の説明が印象に残りました。特に、発見された化石から大体の年齢が分かることです。そして、年齢が分かることで、おおよその見た目が分かることです。1つの化石からいろいろなことの予想が立てられるのは、化石の魅力の1つだと感じました。

(柴田 一冨さん)

☆瑞浪や巻貝やデスモスチルス、パレオパラドキシアなど、たくさんの化石が見つまっていることを改めて知りました。さすが化石の町だと思いました。明世化石などのエリアを設けて「守ろう」という想いがお話して下さった時に強く伝わりました。明世化石がなかったら、何事もなく工事が進んでいたと思うと、守ってくれている方がいてよかったなあと感じました。私も化石の町の一員として、もっと化石について触れたいなあと感じます。

(日比野佳那さん)

(大湫宿)

☆私が特に印象に残ったことは、大杉です。私は釜戸に住んでいるので、大杉は何度も見たことがあります。今日改めて見て、大杉の迫力を感じました。倒れてしまったのはとても残念だったけれど、そこから協力して大杉を復元しようとする地域の人たちはすごいと思いました。そして、しめ縄をまわして、文化を守り続けていこうという思いもすごいと思いました。私も、大湫宿の文化を守るために行事などに参加したり、祭りなどを見に行ったりしたいです。

(石川 葉菜さん)

☆今日の地域学習の中で、家のづくりが特に印象に残りました。虫籠窓や連子窓などの窓や、防火壁などの壁、越屋根(煙り出し)などの屋根があるなど、今の私たちが住んでいる家とは全然違うつくりでびっくりしました。それぞれのつくりには、工夫や意味があると知って、すごいと思いました。

また、大杉に巻いてあるしめ縄も、大湫の方々でつくっているところに驚きました。地域のことを大切に想い、それを実際に行っているのも、縄の向きまで考えているところもすごいと思いました。今日の地域学習は、ボランティアガイドさんたちのお陰で、大湫のことをたくさん知ることができました。

(安藤 礼乃さん)

☆北中学校の校歌に「中山道」という歌詞が出てきます。その時は、あまり「中山道」が頭に出てきませんでした。しかし、今日のお話を聞いて、中山道は、江戸から京都まで歩いて行く時に利用され、たくさんの人から愛されていた、とても素敵なものだったと知ることができました。一番印象に残っていることは、かんのう印象に残っていることは、観音堂から見た景色です。大湫全体を眺めることができ、とても気持ちがよかったです。当時は、3000人も観光客が来ていたと聞いて、当時の人の気持ちがわかりました。

自分が住んでいる町に、こんなにたくさんの歴史の詰まったものがあったんだなと感心しました。もっと更に誇りをもって、家族などに伝え、良さを広げていきます。

(長岡 佑奈さん)